

1 市の概要

人口	39,199 人
保護率	0.54 %

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当 (件) 一月当たり	12.1
プラン作成件数人口10万人当(件) 一月当たり	1.9
就労支援対象者数人口10万人当 (件) 一月当たり	0.4

3 実施方法について

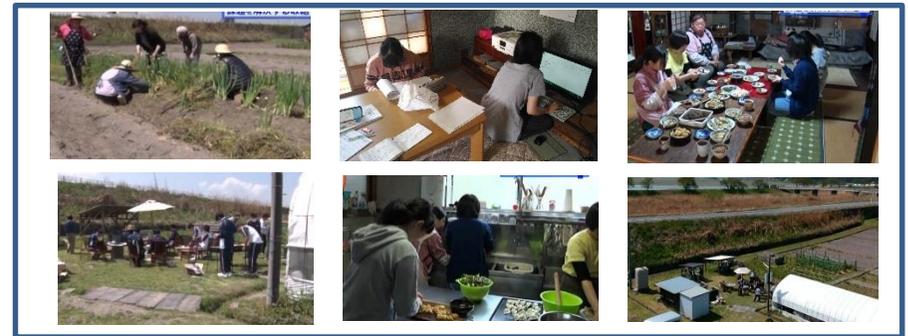
実施方法	委託（NPO法人 眞知子農園）単年契約・随意契約
事業費	3,923千円（平成30年度）
理由 (委託)	<p>○有機栽培での農業による農業体験や調理体験、共食の場等地域での居場所づくりの取り組みを行ってきたことから、学習支援だけでなく、子どもの居場所づくり、大人との関わりを持つ機会の提供などが可能であり、生活困窮者自立支援事業での活用が可能と考えたため。</p> <p>○不登校の児童・生徒を受け入れている安来市教育支援センターとの連携もっており、効果的な支援が期待できる。</p> <p>○教育委員会の事業として、安来市教育支援センターに通えない等の児童・生徒の受け入れを実施している。</p>
事業概要	<p>○生活保護受給世帯を含む生活困窮世帯の子どもと親の支援</p> <p>○担当者1名とボランティア、元教員等による支援体制</p> <p>○委託先では、社会に出にくい子どもや若者に対し、年齢や性別、地域を越えて、同世代ならびに世代を超えた人たちとのコミュニケーションの場や学習の場を提供している。</p> <p>○学習支援だけでなく、農作業や調理体験など年齢、世代を越えて行う体験を通じて、子どもたちの個性を伸ばし、積極的に社会へ参加していける力を養うことが出来る。</p>

4 事業実績（H30年度）

実利用者数	うち高校生	うちその他
	4人 (うち困窮以外2人)	2人 (うち困窮以外1人)

5 事業実施のポイント ～様々な体験の中から～

- 居場所での学習支援により高等学校卒業をめざす
- 親については、農作業を通じ、一般就労に就くための基礎的な能力の習得をめざす
- 有機野菜・加工品作りによりものづくりの楽しさを味わう
- 各種イベント参加により地域社会とのふれあいをする



利用者とその家族の声

○農園のスタッフさんや地域の方々と学習やいろいろな活動で交流して、人と話すことや一緒に活動することができるようになりました。また、野菜の作り方を教えてもらったり、加工品の販売をしたりすることが楽しくなりました。

6 取り組んで良かったこと

○学習の機会を提供すると共に、その他の活動から大人から認められたりする経験を重ねることで、子どもの自己肯定感が育っていると感じる。